

苦小牧のコケ観察 (蘚苔類)

その1 錦大沼のコケ

コケ分布地図

1. コフサゴケ	11. ヒロハツヤゴケ	21. イボミズゴケ
2. ハイゴケ	12. クサゴケ	22. コスギゴケ
3. チャボスズゴケ	13. コツボゴケ	23. ヒメミズゴケ
4. カラスヤスデゴケ	14. トサカゴケ	24. ジャゴケ
5. トヤマシノブゴケ	15. ナミガタタチゴケ	25. ウニバヒシヤクゴケ
6. オオサナダゴケモドキ	16. エダツヤゴケ	26. コセイタカスギゴケ
7. エゾヒラゴケ	17. ヒナイトゴケ	27. イボカタウロコゴケ
8. エゾイトゴケ	18. スズゴケ	28. イトハイゴケ
9. アオモリサナダゴケ	19. ネズミノオゴケ	29. カラフトキンモウゴケ
10. イワイトゴケ	20. イタチゴケ	30. カモジゴケ

※判定基準： 難しい1←→5優しい 目安： 難しい△ 割と優しい○ 優しい◎



1. コフサゴケ (イワダレゴケ科)

地上 (2 △)

(特徴) 茎は赤褐色で地よく這い、枝分かれも多く見られる。ルーペで茎葉を見ると中央部は太く、先になって急に細くなり尖る。葉は緑色～黄緑色で光沢がある。乾いても縮れず、展開する。



2. ハイゴケ (ハイゴケ科)

地上 (4 ○)

(特徴)

1次は不規則に這い、2次で立ち上がる。光沢が有り明るいコケ、葉が湾曲(カール)している。



3. チャボスズゴケ (シノブゴケ科)

樹上・倒木 (2 △)

(特徴) 樹幹の縦より横ラインで群生。倒木にも見られる。茎に付く細い枝は先に向かって短くなり、全体で細い三角形にV字に見える。緑と茶の部分が入り交じる。



4. カラヤスデゴケ (ヤスデゴケ科)

樹上 (4 ◎)

(特徴) 大体が茶褐色。樹皮上で枝を広げるように這う。樹皮がつるつとした紅葉系の樹幹に見られる。



5. トヤマシノブゴケ (シノブゴケ科)

地上 (5 ◎)

(特徴) 細く細かく枝を出してシダのように見える。枝は放射状でない。茎葉の先端が、針金状に伸びる。(ルーペで見える)



6. オオサナダゴケモドキ

樹基部など (3 ○)

(特徴) サナダゴケと和名が付くコケは、葉の付き方が交互に折り重なるように茎について、真田紐に似ていることから付けられている。この名前が付くコケは何種かあるが、茎の長さが2 cm程あり、比較的暗緑色だが光沢があり、やや扁平してマット状の群落をつくる。



7. エゾヒラゴケ (ヒラゴケ科)

樹上 (2 △)

(特徴) スズゴケ、イタチゴケと同じように樹幹から上に反り、枝を広げる。葉をよく観察すると、葉の中央部に凹みが見られ平べったく見える。一見、凹みはシワのようにも見える。



8. エゾイトゴケ (シノブゴケ科)

樹上 (2 △)

(特徴) 樹幹の基部に濃緑色の群落をつくることが多い。乾燥すると強く巻き縮み湿ったときでは変化が大きいので、霧吹きで葉を開かせて観察するとよい。葉は基部が広く、細長い舌状で葉先は円頭または広く尖る。



9. アオモリサナダゴケ (ハイゴケ科)

地上 (5 ◎)

(特徴) 樹幹の基部に見られることが多い。葉が折り重なりワラジの形のように見え、光沢が有り、密集した群落をつくる。このコケも真田紐のように葉が交互に織り込んだように見える。



10. イワイトゴケ (キヌイトゴケ科)

樹上 (3 △)

(特徴) 樹上に細い茎が絡み合うように這う。細い先が綿棒のように丸く見え、全体的には針金が絡み合っているように見える。

似た仲間があり、少し太いものではナガスジイトゴケなどがあります。



11. ヒロハツヤゴケ (ツヤゴケ科)

樹上 (3 ○)

(特徴) 樹幹に這うが、葉がまばらに張り付くように見える。葉にはツヤがあるが、乾燥すると白っぽい葉だけが目立つ。



12. クサゴケ (ハイゴケ科)

倒木、切り株 (1 △)

(特徴) 見分けが難しいコケ。倒木に明るい緑色の群落をつくる。長く赤褐色の蒴柄を多数出す。倒木や切り株に上に群落をつくる。



13. コツボゴケ (チョウチンゴケ科)

地上・倒木 (3 ○)

(特徴) 林内でも多く見られるコケ。葉を観察すると透明感があり、葉先に中肋が突出しているのが見える。蒴(さく)もよく出す。雌雄異株(しゅういしゅう)なので、株内に花状に開いた葉の中央に緑色の雄器盤が見られる。乾燥すると葉は強く巻き縮む。



14. トサカゴケ (ウロコゴケ科)

倒木 (5 ◎)

(特徴) 樹皮のない黒っぽい倒木に見られ、緑の細かい枝が四方に枝分かれしたように見える。拡大して見ると葉が鶏の鶏冠のように見える。



15. ナミガタタチゴケ (スギゴケ科)

地上・倒木 (5 ◎)

(特徴) 葉は披針形で葉中央部にはっきりとした波のようなシワがある。乾燥すると強く巻縮む。蒴は長い筒状で真ん中部分が濃い色、先が茶色が特徴。

